

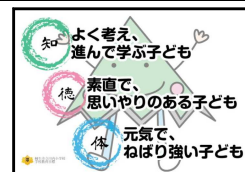


川内小学校だより

ゆずり葉

第9号

平成30年7月19日
桐生市立川内小学校発行



有意義な夏休みに

子どもたちは、明日、通知表を持って帰ります。通知表には学習の状況のほかに、頑張ったことやできるようになったことが書かれています。そして、こんなことができるようになってほしいという課題も書かれています。

保護者の皆様には一緒に通知表をご覧ください、たくさん認めて、あたたかい励ましの言葉をかけていただきますようお願いいたします。

保護者の皆様には学校へのご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。

今年の夏休みは37日間です。子どもたちにとっては待ちに待った夏休みです。大いに楽しんでほしいと思います。高田敏子さんの詩ではありませんが、充実した夏休みになることを願っています。そのために次のことに特に気を配っていただきますようお願いいたします。

- ・早寝、早起き、朝ごはんを続ける
- ・テレビやゲームは1日2時間以内におさえる
- ・毎日、学習をする
自由研究や読書（1日10分以上）にも挑戦する
- ・家の手伝いをする
- ・交通安全に気をつける



声をかけるときの参考に

子どもをほめるときはもともとの能力ではなく、具体的に達成した内容を挙げてほめることが重要

例えば

「あなたはやればできるのよ」ではなく、

「今日は1時間も勉強できたんだね」「今日は遅刻や欠席が一度もなかったね」と具体的に子どもが達成した内容をあげることが効果的といわれています。

忘れもの

高田敏子

入道雲にのって
夏休みはいつしまった
「サヨナラ」のかわりに
すばらしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお
木々の葉の一枚一枚が
あたらしい光とあいさつをかわしている

だがキミ！夏休みよ
もう一度もどってこないかな
忘れものをとりにさ

迷子のセミ
さびしそうな麦わら帽子
それからぼくの耳に
くっついてはなれない波の音



テストの点数（アウトプット）ではなく、本を読んだり、宿題をしたり（インプット）することに対してほめることが重要

理由は

本を読んだ。宿題をやったという事実を褒めることに意味があります。学習方法を学ぶからです。テストの結果をほめることは、方法を学ぶことではないので、将来に結びつきにくいということです。（参考「学力の経済学」）

